

事業所名

ピーすの児童デイ あぼろ

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

6 月

14 日

法人（事業所）理念		ピーすの児童デイの目標は、子どもの成長力を”えんぱわ”すること。 子どもの「自ら成長しよう」とする力を、家族が「たのしく暮らそう」とする力を、周囲の「ともに生きよう」とする力をめいっぱい活かしてもらおう支援を行います。 ※エンパワメントとは、本人が本来持っている力を発揮できるよう、自分自身が人生の主人公となる力をつけ、生活や環境をコントロールできるようにしていくこと。	
支援方針		どのプログラムも『自分でできる』が目標。そのために『見て、わかる』『見たら、できる』を支援しています。 環境を視覚的に整えた中で、信頼できる大人の支援のもと、友人とともにさまざまなことにチャレンジし、将来の自立に向けた生活力を育成します。 自己決定の練習やコミュニケーション支援を行い、「家で過ごす力」「地域に交わる力」「友人と楽しむ力」を育てます。	
営業時間		営業時間 10時00分～18時00分まで 活動時間 小中学生 10時00分～17時00分まで 高校生 10時00分～17時00分まで （長期休暇は全員 10時00分～17時00分まで）	送迎実施の有無 あり なし
		支 援 内 容	
本人支援	健康・生活	・身辺自立の練習（排泄、着替え） ・健康な体づくり（散歩、トランポリン、キャッチボールなど公園で身体を動かす遊び） ・クッキング（簡単な調理を体験、食への興味を広げる） ・買い物（好きなものを自分で選んで決める練習） ・家事練習（洗濯、食器洗い、掃除機、拭き掃除など）	
	運動・感覚	・室内遊び（好きなことを増やし、過ごし方の幅を広げる） ・公園遊び（遊具で遊ぶ、キャッチボールなど身体を動かす遊び、自然に触れる） ・工作（様々な感触のものを利用したり、ハサミなどの用具を使用したり、手指のトレーニングができるものなど、個別の能力に合わせた内容を椅子に座って取り組む） ・個別課題（マッチング、製品組み立て、文字など個別の能力に合わせた内容を椅子に座って取り組む）	
	認知・行動	・視覚支援を活用し見通しの理解 ・タイマーや時計を活用し時間の理解 ・外出活動（交通ルールを理解し、安全に行動する） ・クッキング（調理器具を安全に使う）	
	言語コミュニケーション	・様々なコミュニケーションツール（言葉、カード、マカトンサイン、文字）を使用し、相手に自分の気持ちや要求を伝える練習 ・様々なコミュニケーションツール（言葉、カード、マカトンサイン、文字）を使用し、相手の気持ちや表現を理解する練習 ・生活で使う簡単な言葉の理解 ・挨拶をする	
	人間関係社会性	・大人や友人との関係づくり ・集団活動（他者と協力して取り組む、話を聞く、待つ、友人と一緒に遊ぶ） ・ルールのわかりやすい遊びを他者と一緒に楽しむ ・買い物や散歩（公園遊び）、外食など 外出を通して地域の人と触れ合う機会を経験する	
家族支援		・保護者面談（半年に1回） ・関係機関との連携 ・必要に応じて相談対応	移行支援 ・進学先、就労先との情報共有 ・進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携		・各関係各所との連携（相談支援、学校、放課後等デイサービスなど）	職員の質の向上 ・法人全体での職員研修（年2回） ・外部研修の受講（年1回以上） ・支援会議（支援方針や課題の検討など、支援に関わるスタッフと毎月行います）
主な行事等		・避難訓練（年2回） ・各季節イベント行事（ハロウィン、クリスマス、初詣、卒業式など） ・外出イベント	